

# R5女性・若者ワーキンググループの検討状況について

○R5充実強化研究会のテーマについては「女性・若者」。女性や若者に対する消防団の認知度向上、及び入団促進の取組について検討する。

○「女性」「若者」のいずれも重要なテーマであることから、まずは「女性」に軸足をおいて検討を進める。また、若者については、現状分析、ターゲットの明確化から始めることとする。

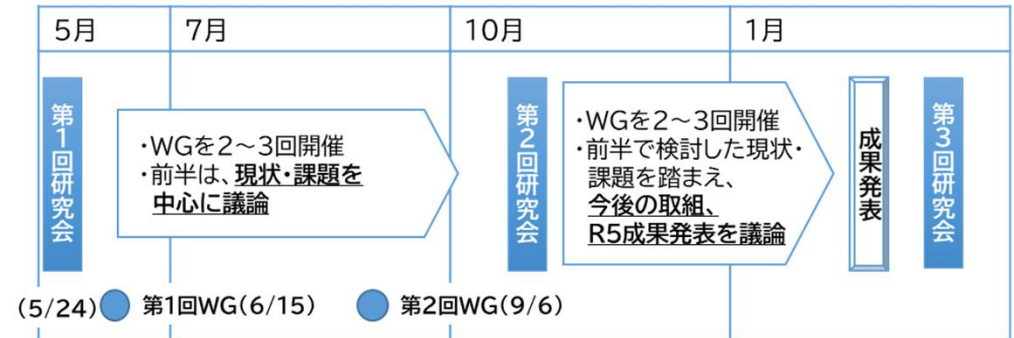
○検討期間は、1年と決めず、腰を据えて取り組むこととする。

[5/24研究会決定]

## (基本データ) R5.4.1現在

	大阪	全国
女性消防団員の割合	2.8	3.7
女性消防団員がいる消防団数の割合	61.3	78.3

## (スケジュール)



## ■ WGメンバー

・女性消防団員連絡会議  
・府職員

3名(泉大津市・高石市・交野市)  
5名(府消防指導G員)

・府消防協会 1名

計9名(R5.6.15時点)

## ■ 第1回WGの主な意見

### 女性消防団の現状と課題について意見を交換した

- ✓ 女性が入団し、増えていくことで、男性団員の意識変化、相互理解が深まってきている
- ✓ 消防フェスタでの広報や救命講習など、実際の活動を見てもらうことが入団につながっている
- ✓ PRには実用的な啓発グッズが役立つ
- ✓ 男女問わず、様々な活動をすることで活動の幅が広がる
- ✓ 消防団の活動には、消火活動以外にも、応急手当講習や広報など、様々な役割があることをPRすべき

## ■ 第2回WGの主な意見

### 現状を踏まえ成果発表の内容について意見を交換した

- ✓ 他の消防関係行事を考慮し、2/25か1/28を候補日とする ⇒2/25を軸に調整
- ✓ 座学形式ではなく、女性団員にブース出展をしてもらい、ワークショップのような形式でやるのはどうか
- ✓ 参加者については、広く一般の人ではなく、消防団員とし、まずは、若手団員も含めた消防団関係者に女性団員の活動を知ってもらうものにしてはどうか
- ✓ 女性団員がいない消防団にも女性団員の活動を知ってもらい、女性の採用につながるようなきっかけになると良い
- ✓ 女性消防団員が活動するには家族の理解が必須。家族や子どもを連れて参加できるようなイベントにしてはどうか
- ✓ 若者のテーマにもつながるような取組みとしてはどうか

⇒基調講演の有無や会場については、事務局で内容を整理するとした